

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛

アリタ小マイセンから
いただいたお菓子の模型

学習者用端末を子ども達の文房具の1つに！

有田町では、県内で先駆けてICT活用が進められました。それによって、町内小学校では学習の道具として使い方が工夫されています。有田小学校でも全学年の児童に一人1台の学習者用端末を貸し出しています。鉛筆やノートを使うように、使うべき時に効果的な使い方を模索しています。

その一環として、プログラミング学習でスプリングンというアプリを使っています。その使い方を民間企業であるスプリングン社の方に来て頂き、子ども達や担任に教えて頂きました。その中で、スプリングンをパソコン上の物や人を動かすだけでなく、社会科の学習に取り入れる試みを行いました。



今回は、5年生の社会科の「これからの食料生産」と「工業製品とわたしたちの暮らし」で学習したことをまとめる段階で、クイズにして発表することに活用しました。これまでのようにノートや新聞記事にまとめるのではなく、スプリングンというアプリでクイズの問題を音声編集して問いかけたり、答えを視覚的に動かして強調したりと、子ども達の工夫が見られました。



授業の最後に、担任の加藤先生が「今回の発表で、スプリングンで作ったプレゼンが自分では伝わらと思っていたものが、皆の前で発表することで改良する必要があると気付いたと思います。これからの発表に活かしていきましょう。」と話しました。その通りで、子どもも大人も、まずやってみて上手いかなかったところを修正していくことで、文房具としての使い勝手が高まっていくでしょう。5年生の子ども達は、貴重な経験を積み重ねることができました。これからの学びにいかしましょう。

他市町でも学習用端末の効果的な活用が行われています。ICT活用授業を参観して、学習者である児童生徒にとって学習者用端末は不可欠であり、児童生徒が発達段階に応じてキーボード入力になれることで、文房具の一つとして有効な道具になり得ると考えます。その際に、どのように使うかを児童生徒が判断し決定することが求められていくと考えます。



学習者用端末とノートの併用

最後まで走り抜くことができました！

先週金曜日（6日）の午後から校内持久走大会を行いました。保護者の皆さんや地域の方々に温かい応援をいただき、ありがとうございました。おかげで、有田っ子は練習の成果を発揮することができました。これからも子ども達の姿を通して、日々の教育活動の成果を発揮していきます。



低学年（１・２年生）のスタートダッシュ



先頭を切って走る子ども



温かい声援で走り抜く子ども達



中学年（３・４年生）のスタートダッシュ



先頭を切って走る子ども



競い合って走る子ども達



高学年（５・６年生）のスタート前の笑顔の子ども達



先頭を切って走る子ども



走り抜こうとする子ども達



開閉会式の司会を務めた子ども達



閉会式で代表のこたばを言う子ども



多くの声援を受けて走る子ども達

１００名ちかい皆さんの応援をいただき、ありがとうございました。来年も宜しくお願いします。